

平成24年6月21日

(別紙)

## 「視聴者視点によるNHK評価委員会」の答申を受けて

「視聴者視点によるNHK評価委員会」は、外部の有識者で構成するNHK会長の諮問機関です。視聴者調査などをもとに、公共放送に対して視聴者の皆さまが何を期待しているか、また、その期待にNHKがどの程度応えているかを客観的に評価することをねらいとして、3年間活動を行ってきました。

本日、平成23年度の評価報告書が松本会長に答申されました。

その報告書によると、評価の柱である「放送の信頼性」の23年度の評点は5段階評価で3.8点、「経営の信頼性」の評点は2.6点で、3年間を通してみると、全体的に上昇傾向にあります。ここ1年間はやや伸び悩んでいます。

NHKとしては、評価結果を真摯に受け止め、なお一層の向上をめざして努力してまいります。

これらの評価結果に加えて、評価委員会からは、3年間の活動を通じて得られた知見に基づき、「変化するメディア環境に対応する長期的なビジョンに基づき、公共放送として視聴者の期待にしっかりと応えてほしい」などの示唆や提言をいただきました。こうした貴重な提言についても、今後の経営に生かしてまいりたいと考えています。

また、NHKは、「平成24～26年度経営計画」において、委員会の評価の考え方や数量化の手法を取り入れ、自ら評価点検を行っていくなど、今後、評価委員会の活動の成果を生かした業務運営に取り組んでまいります。

評価委員会は、今回の報告書の提出をもって、活動を終えます。委員の皆さまの3年間にわたる精力的な活動に心から感謝を申し上げます。

評価報告書および概要版は、NHKのホームページに掲載し公表します。